



奈良県

人権メッセージ

作品集VOL.5



はじめに

人権について考えるきっかけのひとつとして県が募集する「人権メッセージ」も今年度で、5回目を数えます。今回のテーマ「しあわせ」にも、多くのメッセージが寄せられました。

「しあわせ」とは何か、「しあわせ」に生きるためには？…など、自分自身と真摯^{しんし}に向き合った軌跡^{きせき}を読み取れるメッセージが数多くありました。

ひとつひとつのメッセージから溢れる想いは、読む人の共感を呼び起こし、心をふるわせます。

自分の「しあわせ」について考えることは、周りの人、そしてこれから出会う世界中の人びとの「しあわせ」について考えることにつながると思います。そしてまた、私たち一人ひとりが「自分らしくある」ために必要なことではないでしょうか。

この作品集が、あなたの「しあわせ」への指針となりますよう…

平成28（2016）年2月 奈良県くらし創造部人権施策課



小学生の部



☀️ → 🎒 → 🌙 → ✨
毎日しあわせ

私が思う「しあわせ」は、
みんなが笑顔で毎日楽しく過ごすことです。
私が通う学校のクラスは、毎日が笑顔であふれかえっています。
みんなの笑顔は、とてもキラキラしていて
私をしあわせにしてくれます。





きみは・・・1人じゃないよ

きみは…1人じゃないよ。

みんなといれば、

元気になれる、えがおになれる仲よしになれるんだよ。

だからみんなといっしょにいればいいんだよ。

きみはみんなをささえていくんだよ。

だからきみは…1人じゃないよ。



みんながしあわせになるために

けんかをしない。

いじめをおこさない。


なかまはずれにしない。

みんなこんなことをおこさなければみんなしあわせになる。

1人1人ががんばればきっとみんなしあわせになるだろう。

がんばればきっとできるだろうな。



感謝すべき父親 

お父さん、最近施設にいるからあまり会えないけど、お父さんがくれたぬいぐるみを見てます。

十才の誕生日でくれたぬいぐるみ。

会えなくてもいい、あの時くれた「大好き」の言葉、それだけでももうじゅうぶん幸せだよ。

小学生の部



しあわせ

ほくがこけたとき

「だいじょうぶ？」ていってくれたから

しあわせでした。

ともだちがこけたとき

たすけてあげたいです。

この世でうまれてきてよかった

体でもいろんな体がある。

たまたま障害があることもある。

たまたま元気な体で生まれる。


でもそのようなことは大事ではなく、

生まれてくるのが幸せで、

障害のある子が幸せではないということは、

けっしてない。



ぼくと弟とねこじゃらし 

犬のさんぽで弟がねこじゃらしを3本とっていました。

そして、弟はぼくに1本くれてお母さんにも1本あげていました。

弟が自分からくれるなんてとってもうれしかったです。

人がしあわせになれること

人がしあわせになれることは、


「ありがとう」とか「おはよう」とか言うことです。

気持ちは、

ありがとうと言われると、うれしい気持ちになるし、

おはようと言われると、あかるい気持ちになります。



自然が豊かなのはいいな 

ぼくがしあわせを感じることは、

いつもなにげに見ている豊かな自然です。

生き物や植物などが豊かにくらしているのがいいと思います。


だから将来は、じゅう医になって動物を病気などからすくってあげたいです。

中学生の部



中学生の部



幸せを運ぶ言葉 

言葉ってすてきだね。

“ありがとう”って一言でみんなが幸せになれるよね。

たくさんの人に伝えたい。

“いつもありがとう”



中学生の部



幸せとは、人によって形はそれぞれです。

私の幸せは、何かを一生懸命頑張った時に出る成果です。

人は、努力をすればするほど良い結果がついてきます。

私は、その努力が報われたときに最大の幸せを感じます。



私の友達

私の幸せは周りにたくさん友達がいることです。
相談にのってくれたり励ましてくれる人。
色々な友達に私は支えられていて幸せです。
だから私も友達が幸せだなと思えるように、たくさん支えたいと思います。

しあわせ、当たり前？

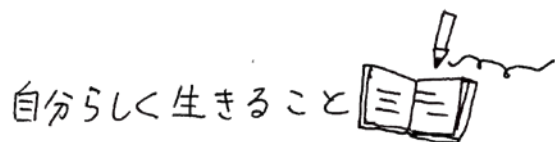
朝から晩まで
お母さんにいろんな事をやってもらって
当たり前だと思っていましたが、
お母さんが体調をくずして寝込んだ時、
当たり前の事が当たり前でないとわかり、
しあわせだったんだな、と実感しました。





私のしあわせ

私のしあわせは両親が仲が良くなったことです。
前まではあまり会話している事もなかったのですが
最近では、私が勉強していると向こうの部屋から笑い声が聞こえてきます。
とてもうれしいです。これが私の幸せです。



私にとって幸せとは自分らしく生きることです。
自分がやりたいと思うことをすること、なりたいと思う人になれることは
素晴らしいことだと思います。
そして、そのために努力できるというのは幸せなことだと思います。



「しあわせ」とは

しあわせとは、一輪の花が咲くことです。

しあわせとは、朝がくることです。しあわせとは、生きることです。

どんなに小さなことだって生きていれば必ず誰かのしあわせになります。

だから私は、明日も生きていたい。

小さなしあわせ

いってきますと言うと行ってらっしゃいと返してくれる家族や地域の人。

おはようと言うとおはようと返してくれる友達。

言いあえる人や見守ってくれる人がいて本当にしあわせだと感じる。

友達の言葉

ぼくは一年生のとき、あまり目立たない子だった。

けれどみんなをまとめている子はこう言った。

「だれ一人欠けても、このクラスはなり立たないよ。」

心が温かくなった。





高校生・一般の部



川の字

昔、両親と川の字で寝た。

今、86歳の母と手をつなぎ、
杖を付く88歳の父の腕を取り、私を真ん中に
ゆっくりゆっくり川の字で散歩する。

庇護された川から見守る川に。

どちらも「幸せ川」です



高校生・一般の部



たった1人

いつも自分は孤独だと思っていた。

頼れる人がいなくて辛かった。

ある日偶然仲良くなった男の子が優しく話を聞いてくれて、
私はもう死にたいと思わなくなった。

たった1人のその人のおかげで、私は初めて幸せを感じた。



小さなしあわせ

電車でおばあさんに声をかけた。「席どうぞ」
おばあさんは笑顔で「ありがとう」
それを見て、私はしあわせになれた。
私の小さな勇気で、小さなしあわせの花が咲く

手から伝わるメッセージ

私は、おばあちゃんにマッサージをするのが大好きだ。
理由は、マッサージを終えた私の手を温かい手で包み
「いつもありがとう」と感謝してもらえるからだ。
手から温かい気持ちを受け取る時、私は幸せを感じる。



もう一度がんばろう

私の息子はハンディキャップがあり生まれてきた。
何度も弱音をはき何もかもが嫌になり泣いていた私の背中に、
小さな腕でぎゅっと抱きつき「大丈夫。」と言う娘。
そのそばで無邪気に笑う息子を見て
もう一度頑張ろうと思えた。



高校生・一般の部



ポジティブに ✨ ✨ ☆

私が「しあわせ」に生きるために大切だと思うことは、
何事もポジティブに考える事だと思います。
なぜなら嫌だった事もポジティブに考えれば
良いことになるかもしれないからです。

人の心♡

誰もが「しあわせ」に生きるためには人の心を考えることが大切だと思う。
これをされたら嫌だろう、
これをされたら嬉しいだろう、自分のことより人のことを考える。
そんな人が増えろとしあわせもあふれると思う。



今、となりにいます。😊😊

一年前。重い精神障害になった僕。
その事を君に伝えたと、離れていきそうで怖かった。
それでも伝えたあの日、君は逃げなかった。
あの日からいつも笑顔でいてくれた。
いつもありがとう。
君が、今、となりにいます。

四合わせ

人と人とのめぐり合わせのこの世の中。
私の人生は、
笑い合い、助け合い、支え合い、励まし合いのなかで
成り立っている。
その四つの”合わせ”が私のしあわせです。





小さな幸せをキャッチする心

在宅で母を介護した7年の日々から、
それまでごく当たり前と思っていた些細なことにも
幸せを感じられるようになった。
幸せは身近なところにいっぱいある。
必要なのは、小さな幸せをキャッチする心。

家族の絆

平成11年、突然の解雇通告を受け、
妻に相談した所、
リストラは神様がくれた休養だと思って
ゆっくりして下さい。
仕事しかなかった人生に
「家族」を加えていきましょう。
ねえお父さん
と言われた時は少し安心しました。



平成 27 年度奈良県人権メッセージ入賞のみなさん



福西 楓恋さん
藤尾 夏妃さん
山本 由美子さん



今川 恵里さん 奥田 綾乃さん 岸 遥菜さん
杉田 光駿さん (ペンネーム) 杉谷 華さん 辻 絵梨さん
花谷 采奈さん 水巻 純弥さん 藪内 尚子さん 山崎 真帆さん



井田 壽一さん 岩下 歩鈴さん 小椋 萌恵さん 川田 美穂子さん
木田 凜さん 黄金井 麻陽さん 辻岡 祐作さん 林 優花さん
林 良太さん 福井 幸介さん 古井 佑佳さん 細谷 悟朗さん
森田 光侑雅さん 山下 風香さん 山本 真凜さん T. H さん (ペンネーム)

(同不順)

